

平成24年度事業ならびに活動報告

1. 事業活動概況

平成24年度の活動計画にもとづき、産業に係わる安全の諸問題を広く工学的に調査・研究し、各種災害の防止のための知識・技術の向上及び普及を図った。

研究・教育事業では例年開催している研究発表会を11月29・30日に東京地区で開催し、例年並みの180名の参加があった。又、2014年6月にWCOGI 2014の開催することを決め準備に入った。

普及啓発一般事業では、例年と同様、会誌“安全工学”を発行し、各種講習会セミナーを開催した。論文投稿者は10報でほぼ例年並みであった。セミナー参加者は若干の減少傾向が続いている。当学会が主催する安全工学セミナー（4講座）の内容を書籍に纏め、「実践安全工学シリーズ」（全3巻）として化学工業日報社より発刊した。

普及啓発事業において、保安力評価システムを実践するため「保安力向上センター」立ち上げに向けて、準備室活動を推進した。企業18社より各種支援を受け、「保安力向上センター」を平成25年4月1日設立した。企業支援は、平成25年度入会特別金として25年以降の活動資金にあてる。又、平成24年下期から企業の人材協力を得て実用的な保安力自主評価表の確立をすすめた。

経済産業省資源エネルギー庁より平成24年12月「平成24年度石油産業体制等調査研究（我が国製油所の事故の要因分析調査）」に関する受託を受け、実施委員会を立ち上げ、製油所5社5事業のヒヤリングなどを実施し3月29日報告書を提出した。

安全工学会の会員は法人会員が85社から81社に減少、普通会员も670人から637人に減少（入金ベース）、ここ数年の減少傾向が続いている。特定非営利活動法人の法改正により、寄付金の税控除が可能となり、寄附金を集めやすくなる認定NPO制度の拡充が進む中、仮認定NPO申請（8月16日）を行い、東京都より平成25年2月5日仮認定承認の通知を受けた。（有効期限は3年）

2. 特定非営利活動に係る事業

2.1 安全工学に関する研究・教育事業

(1) 第45回安全工学研究発表会

開催日時：平成24年11月29日（木）、30日（金）

実施場所：女性就業支援センター（東京都）

参加者：180名

一般講演：17セッション 53件

OS講演：2タイトル7件

特別講演：2件

技術展示協賛：11件

ポスター協賛：7件

(2) WCOGI 2014大会の開催準備

第5回 World Conference on the safety of Oil and Gas Industry の世界大会を2014年6月10日～12日に岡山コンベンションセンターにて安全工学会主催で行うことを決定。開催の準備に入った。岡山大学鈴木教授を実行委員長とし、IPC委員会、NOC委員会を立ち上げた。

(3) 研究・教育事業管理

①学術委員会

メール会議を含めて2回実施

②安全工学研究発表実行委員会

研究発表会に向け1回実施

③WCOGI 2014実行委員会

実行委員会1回、IPC委員会2回、NOC委員会1回実施。

④医療安全研究会

6回の研究会を東京海洋大学、練馬総合病院などで開催

⑤廃棄物安全研究会

1回の研究会を東大環境センターで開催

2.2 安全工学に関する普及啓発事業

2.2.1 一般普及事業

(1) 会誌発行“安全工学”(Vol.51, No.2～Vol.52, No.1)

平成24年4月, 6月, 8月, 10月, 12月、平成25年2月発行

特集：保安力 Vol.51, No.6

(2) 講習会・セミナー

①第34回安全工学セミナー

開催場所：砂防会館又は化学会館 会議室

A. 物質危険性講座

開催日：平成24年9月12日(水), 13日(木)

参加者：8名

講師：大谷英雄氏、新井充氏、鶴田俊氏、松永猛裕氏、田中則章氏

B. 危険現象講座

開催日：平成24年10月16日(火), 17日(水)

参加者：13名

講師：土橋律氏、飯塚義明氏、三宅淳巳氏、若倉正英氏

C. プラント安全講座

開催日：平成24年11月14日(水), 15日(木)

参加者：21名

講師：島田行恭氏、角田浩氏、高木伸夫氏、二宮光良氏、
佐藤吉信氏、山隈瑞樹氏、

D. 安全マネジメント講座

開催日：平成25年1月16日（水）、17日（木）

参加者：23名

講師：野口和彦氏、半田安氏、田村昌三氏、臼井修氏、
酒井一博氏、小川輝繁氏

② 安全工学地域セミナー

開催日：平成25年3月8日（金）

開催場所：三井化学（株）大阪工場技術センター

参加者：17名

講師：田中則章氏、鈴木康弘氏、板垣晴彦氏

内容：講演の他、三井化学（株）工場を見学

③ 第11回安全工学実験講座

場所：日本カーリット（株）危険性評価試験所

開催日：平成24年5月28日（月）、29日（火）

参加者：17名

講師：（有）PHAコンサルティング 飯塚義明氏
日本カーリット（株） 鈴木康弘氏

実験内容：

* 圧力容器試験

* 落つい感度試験および摩擦感度試験

* 引火点試験

* 濃縮爆轟試験

* 引火爆発試験

* 混触発火試験

* ミニSA検証実験

④ 第26回安全管理の最新動向講習会

開催日：平成24年4月25日（水）、26日（木）

場所：化学会館

参加者：13名

講師：高木伸夫氏、酒井忠雄氏、白坂成功氏、柳川達生氏、
高野研一氏、中村隆宏氏

⑤ 災害事例研究会

a) 第43回災害事例研究会

場所：化学会館

開催日：平成24年7月24日（金）

参加者：17名

内容：* 宇宙ステーション補給機「こうのとり」の安全設

計とその後の取り組み
*直下型地震と化学プラント
白坂成功氏
新井充氏、大場弘行氏、松川圭輔氏

b) 第 44 回災害事例研究会

場 所：化学会館

開催日：平成 24 年 12 月 20 日（木）

参加者：34 名

内 容：*プロセスの運転安全

岩田稔氏、臼井修氏、清水健康氏

⑥災害事故分析手法 P F A 講習会

場 所：東京工業大学 CIC

開催日：平成 24 年 6 月 14 日(木)、15 日(金)

参加者：15 名

講 師：和田有司氏、加藤勝美氏、阿部祥子氏

当講習会は、化学工学会、火薬学会と共催実施

(3) 書籍出版

当学会の主催する安全工学セミナーの内容を書籍にまとめ「実践・安全工学シリーズ」（1－3）（監修：安全工学会）として発刊。

書名：シリーズ 1 「物質安全の基礎」（H24. 7. 17 発行）

シリーズ 2 「プラント安全の基礎」（H24. 8. 7 発行）

シリーズ 3 「安全マネジメントの基礎」（H25. 1. 29 発行）

編者：新井充、佐藤吉信、高木伸夫、野口和彦、若倉正英

発行所：化学工業日報社

(4) 安全懇談会

①社長懇談会

・化学会社 4 社の社長、学会関係者との懇談会実施

テーマ：安全に対するマネジメントの役割と社長の役割

開催日：平成 24 年 4 月 16 日

②工場長との安全検討会

川崎地区の 6 社の工場長と学会関係者の懇談会を 2 回実施。

（旭化成ケミカルズ(株)、J X 日鉱日石エネルギー(株)、昭和電工(株)、東燃ゼネラル石油(株)、(株)日本触媒、日本ゼオン(株)、)

開催日：平成 24 年 6 月 18 日、平成 25 年 1 月 17 日

(5) 地震対応指針検討委員会

委員会を 4 回開催、安全工学シンポジウムで発表、及び会誌に

「東日本大震災から学ぶ化学プラントへの教訓」（安全工学、vol. 52 no. 1 pp. 2-10）を公表。

(6) 普及啓発事業管理

① 編集委員会

毎月（計 12 回）の編集委員会を開催。

- ② 普及委員会
4 回開催
- ③ 安全を話し合う会
1 回開催

2.2.2 普及啓発事業：保安力向上センター関連事業

保安力向上センター準備室として活動実施。企業支援者の協力を得て自主評価表の確立をはかった。評価表及びその手引きは知財登録を実施した。又、センター運営に向けての実施要領など検討した。

- ① 保安力準備委員会 1 回開催
- ② 保安力準備運営WG 3 回開催
- ③ 保安力準備企画委員会 7 回開催
- ④ 保安力準備安全文化検討WG 6 回開催
- ⑤ 保安力準備保安(安全)基盤検討WG 3 回開催
- ⑥ 保安力準備アドバイザー委員会 1 回開催
- ⑦ 保安力準備室教育委員会 4 回開催
- ⑧ 保安力向上センター打ち合わせ 4 回開催
- ⑨ 保安力準備顧問会 2 回開催
- ⑩ 保安力向上センター推進委員会 5 回開催
- ⑪ 保安力向上センター推進委員会 リーダー会議 4 回開催
- ⑫ 保安力法人化検討会 1 回開催
- ⑬ フランス産業安全研究所との意見交換会 1 回開催

2.2.3 普及啓発事業：受託事業

① 経済産業省資源エネルギー庁受託事業

「平成 24 年度石油産業体制等調査研究（我が国製油所の事故の要因分析調査）」

内容：多発する製油所の事故の要因分析調査を行い、製油所共通の課題について提言としてまとめ、報告書を提出した。

*契約期間：平成 24 年 12 月 27 日～平成 25 年 3 月 29 日

- ①委員会 3 回
- ②ヒヤリング調査 5 社 5 事業所 9 回

2.3 安全工学に関する調査研究及び情報収集提供事業

- ・安全工学に関する情報を提供のホームページ情報
随時ホームページ修正を行った。

2.4 安全工学研究の奨励及び研究活動等の表彰

安全工学に貢献した優秀論文、及び安全に関して学術・技術・啓蒙、本学の発展に貢献した功労者を選考した。又、研究発表会に

於いてすぐれた発表をした若手研究者を選考した。
表彰式は総会で実施予定。

(1)安全工学論文賞選考委員会

平成 25 年 3 月 5 日(火) (選考委員 5 名)

(2)北川学術賞, 玉置功労賞選考委員会

平成 25 年 3 月 12 日(火) (選考委員 5 名)

(3)奨励賞選考 (学術委員会にて選考)

平成 25 年 3 月 5 日 (火) (委員 6 名)

2.5 国内外の団体との連携及び協力

(1)安全工学に関連する学協会に加入

(社) 日本工学会、高圧ガス保安協会などに会員として加入

(2)安全工学シンポジウム 2012 (第 42 回)

開催日時：平成 24 年 7 月 5 日 (木), 6 日 (金)

実施場所：日本学術会議

主 催：日本学術会議

幹事学会：日本化学会

共 催：36 学協会

一般講演：113 件

OS 講演：9 題 50 件

特別講演：2 件

基調講演：1 件

パネルディスカッション：2 パネル、9 講演

安全工学会参加セッション：

OS ; 化学産業の保安力向上を目指して

座長：若倉正英氏、

武富義和氏、伊藤東氏、岩田稔氏、清水健康氏

PD ; 直下型地震と化学プラント

司会：新井充氏、

瀬瀬一起氏、大場弘行氏、松川圭輔氏、高木伸夫氏

2.6 管理業務

(1)総会 (1 回)

開催日：平成 24 年 5 月 22 日 (火)

開催場所：化学会館

出席者：委任状を含め 478 名

(2)理事会 (5 回)

平成 24 年 5 月 8 日 (火) 理事 12 名 監事他 3 名

場所：丸善石油化学 (株) 会議室

平成 24 年 5 月 22 日 (火) 理事 14 名 監事他 2 名

場所：化学会館会議室

平成 24 年 7 月 11 日（水）理事 14 名 監事他 3 名
場所：アロマビル 701 会議室

平成 24 年 11 月 16 日（金）理事 12 名 監事他 3 名
場所：アロマビル 701 会議室

平成 25 年 3 月 11 日（月）理事 12 名 監事他 3 名
場所：アロマビル 701 会議室

その他、理事有志による合宿意見交換会実施

開催日：平成 24 年 8 月 31 日（金）～9 月 1 日（土）

場所：住友化学（株）参宮寮

参加者：10 名

(3) 常任理事会（メール会議を含めて 3 回）

平成 24 年 7 月 仮認定 NPO 法人申請に関するメール会議

平成 24 年 12 月 27 日（木）常任理事 9 名、事務他 2 名

平成 25 年 2 月 1 日（金）常任理事 8 名、事務 1 名

(4) 委員会

① 評議員会

平成 24 年 5 月 22 日（火）実施

② 監事会

平成 24 年 4 月 24 日（火）実施

③ 総務委員会

平成 25 年 1 月 15 日（火）

③ 企画委員会

4 回実施

④ アドバイザリーボード

平成 24 年 9 月 28 日（金）、アロマビル 701 会議室にて開催
安全管理、保安力向上センターについて議論

(5) 見学会

① 開催日：平成 24 年 10 月 5 日（金）

開催場所：防衛省技術研究本部陸上装備研究所

参加者：安全工学会会員 22 人

内容：車両振動試験装置、新戦車、信管衝撃シミュレーション装置などを見学

② 開催日：平成 25 年 3 月 15 日（金）

開催場所：（独）産業技術総合研究所

参加者：安全工学会会員 14 人

内容：燃焼・爆発研究施設の他、軽量標準総合センターでの長さ、
時間、圧力に関する標準の研究施設、環境上における各種
標準物質の作成状況などの説明を受け見学

以上